

ヒアリング・アンケート結果の概要

事業者ヒアリング

- ・利用者数は、コロナ前と同程度まで回復【鉄道、路線バス、タクシー、航路】
- ・現在は大きな運転士不足はない【鉄道】
- ・減便やダイヤ改正等を実施するも、運転士不足は解消されていない【路線バス】
- ・運転士不足は事業者により異なるが、運転士の高齢化が進んでいる【タクシー】
- ・どの職種も世代交代の時期となっている【航路】

バス乗り込みヒアリング

- ・回答者数 103 名のうち、約 70 % が 60 歳代以上。
- ・移動理由は、「買い物」及び「病院」で過半数以上（約 60 %）を占める。
- ・最も改善してほしい点として、①運行本数、②ダイヤ、③バス停の環境、④運賃、⑤ルートの順で回答数が多かった。
- ・自由意見として、「今の路線を維持してほしい。」「県総に行きやすくして欲しい。」「バス停に屋根やベンチをつけて欲しい。」などが挙げられた。

高齢者向けアンケート

- ・70 歳以上の市民 1,150 名に対し実施。（回答数 804 名(約 70 %) 平均年齢 77.9 歳）
- ・各公共交通（直近 3 か月以内）を約 30 % の方が利用している。そのうち、タクシー、路線バス、鉄道（新幹線除く）、その他（新幹線・高速バス等）の順で回答が多かった。
- ・交通 IC カードの保有率は 14 %、スマホの保有率は 72 %。

ヒアリング・アンケート結果の概要

実施結果を受けて

著しく変化する昨今の公共交通の状況を踏まえ、以下の3点を重要な課題として抽出しました。

- ① **より一層深刻化する運転士不足への早急な対応**
- ② **バス運行本数やダイヤ改善のほか、バス停環境の改善**
- ③ **地域の実情に応じた最適な交通手段の確保**